

Q4. 青銅製祭器は地域的に特徴的な分布があるともいわれる。どのような青銅器が、どのあたりの地域に分布しているか？ [P.19L. 1~; 図表P.38①、②]

〈近畿圏〉 〈瀬戸内沿岸〉 〈北九州〉

※「青銅」=銅、錫、鉛の合金。もろくはなるが、加工が容易で硬くなる。

☆島根県・11 \_\_\_\_\_ 遺跡…358本の銅剣、6個の銅鐸、16本の銅鉾が出土。[図表P.38②③]

☆島根県・12 \_\_\_\_\_ 遺跡…39個の銅鐸発見。[図表P.38②③]

③石器、木器~農具等で使用 [図表P.36] ←よく見ておくこと!

4. 生活

①環濠集落・高地性集落の登場

☆奈良県・<sup>からこ</sup>唐古・<sup>かき</sup>鍵遺跡…環濠集落。大量の木器が出土。[図表P.41]

☆奈良県・<sup>まきむく</sup>纏向遺跡…3~4世紀の大集落遺跡。邪馬台国の有力候補地か？ [図表P.12&41]

☆佐賀県・13 \_\_\_\_\_ 遺跡…日本最大級の環濠集落。[図表P.40]

☆香川県・14 \_\_\_\_\_ 遺跡…弥生後期の代表的な高地性集落。[図表P.37]

②墓の登場~古墳の前段階 [図表P.37]

◇15 \_\_\_\_\_ …北部九州に限定。朝鮮半島・中国東北部から伝わる。[図表P.37③]

◇16 \_\_\_\_\_ …北部九州に多い。日本独自。[図表P.33③]

◇箱式石棺墓…北部九州を中心に西日本。朝鮮半島・中国東北部から伝わる。

◇土壙墓…穴を掘って遺体を埋葬。全国にみられる。

◇木棺墓…木製の棺に遺体を埋納。全国にみられる。

◇再葬墓…遺体を土に埋め、白骨化したところで壺に収める。縄文時代より例がみられる。

※以下の二つは支配者の墓とみられる。

◇17 \_\_\_\_\_ …四角く、周囲に溝をめぐる。畿内から全国へ。 (F)

◇18 \_\_\_\_\_ …高く土を盛り上げる。[図表P.37③]

☆岡山県・<sup>たてつき</sup>楯築墳丘墓…倉敷市。弥生後期の代表的墳丘墓。

19 \_\_\_\_\_ 型墳丘墓…中国地方~北陸地方に分布、特に山陰地方に多く見られる。

③埋葬法の変化

◇縄文時代の20 \_\_\_\_\_ から21 \_\_\_\_\_ が次第に主流になる。

↑おらためて図表P29②で下しかめしてみよう。

# 纏

「平形銅剣」、「銅鐸」、「銅矛・銅戈」のいずれかに入ります。それぞれの形も下しかめましょう。

図表P38の写真と説明文をしっかりと見ましょう。それにしても出雲地方とは特別な雰囲気をもつエリアですね。

弥生といは環濠集落。農耕の始まりは争いを激くすゝのてしうか。「10minボックス」では3mの濠や柵でおおわんてい子様子が描かれています。生活に不便な山の上の集落もこの時代から登場します。

\* それぞれ図表で下しかめましょう。

一般的には伸展葬(体を曲げない)に変化するのですが、これは屈葬。

弥生後期には大型の墳丘墓が登場する。この時代は墓制に地域性のみみられるが、次の時代にはヤマト政権が勢力を強めて前方後円墳に象徴する墓制の画一化が進んでいきます。